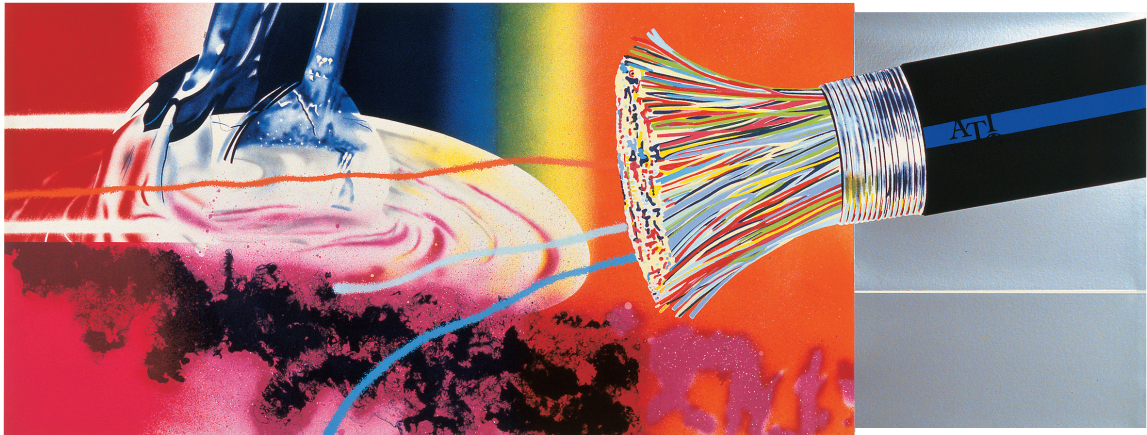




ミスミグループ通信

vol.51 2018年4月1日～2019年3月31日

証券コード：9962




© James Rosenquist/ VAGA at ARS, NY/ JASPAR, Tokyo 2019 E3368

MISUMI Art Collection

ジェームズ・ローゼンクイスト

『Horse Blinders (East)』

解説は裏表紙をご覧ください。



「デジタルものづくり」への
事業モデル革新を強化・継続します。

代表取締役社長 CEO
大野 龍隆

持続的な成長に向けて「攻め」と「守り」を均衡

ミスミグループは、「デジタルものづくりの進化は、グローバルで加速する」との認識の下、「攻め」の経営を継続してきました。一方、世界の経済は昨秋以降、スマートフォン・自動車業界の販売不振や米中貿易摩擦の長期化によって、とりわけ製造業の投資意欲は下期に入って月を追うごとに減退するという状況になっています。

こうした環境においても、当社グループは「グローバル

确实短納期」の優位性により、世界の製造業を支える事業モデルの革新に取り組んでいます。各国の現地ニーズに最適化したECサイトの構築や、3D CAD連携サービスの拡大によって、競争力をより強化しました。全世界の顧客数は2018年度に30万社を突破し、前年同期比で15%増加しています。その一方で、足元の需要変動を踏まえて収益管理を徹底し、また、生産性の改善を優先するなどの経営

判断を行いました。このように、ミスミグループにとっての2019年3月期（以下、2018年度）は、「攻め」と「守り」を均衡させた一年だったと認識しています。

2018年度の連結売上高は、VONA[※]事業の国際展開加速による成長などが牽引したことで、3,319億円、前年同期比で6.1%の増収となりました。計画に対しては未達

FA事業は東南アジアと欧州で成長を確保。VONA事業は国内外で成長継続

2018年度のFA事業は、主に中国や韓国における設備投資需要減速の影響を受けたものの、确实短納期の強みを着実に浸透させることで、東南アジア・欧州で売上を拡大しました。営業利益は事業強化に向けた先行投資を実行したことにより対前年同期比で6.6%の減少となりましたが、事業としての高収益性は継続維持しています。

金型部品事業は、主要国での自動車関連需要が減少したものの、東南アジアにおける販売活動が好調だったため、前年同期比でほぼ同水準の売上高を維持しました。また、のれん代償却などの費用が減少し、増益となりました。

VONA事業は、品揃えの拡大などにより国内の成長が持続したことに加え、東南アジア地域などでの展開拡大が寄与し、前年同期比11.4%の増収となりました。一方、この海外展開拡大の費用負担などにより、23.1%の減益となっています。

ながらも、8期連続で過去最高の売上高を更新しました。一方、利益面につきましては、成長加速に向けた投資を継続したことなどにより、営業利益が318億円（前年同期比8.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は240億円（前年同期比6.1%減）となりました。

※「Variation & One-stop by New Alliance」の略。ミスミブランド以外の他社商品も含めた生産設備関連部品、製造副資材やMRO（消耗品）などを販売する事業。

地域別の売上高では、東南アジアで自動車・エレクトロニクス分野の量産工場からの需要を取り込み、前年同期比6%増（現地通貨ベース）となりました。北米においては、FA分野の品揃え拡大によって自動車分野が伸長し、加えてメキシコでの市場開拓を本格化させています。欧州では、确实短納期の優位性によって広範な業種で顧客開拓が進みました。海外売上高比率は47%となりました。

業績

	2017年度	2018年度
売上高	3,129.6億円	3,319.3億円
営業利益	348.4億円	318.7億円
経常利益	346.7億円	318.1億円
親会社株主に帰属する当期純利益	256.0億円	240.3億円

トップメッセージ

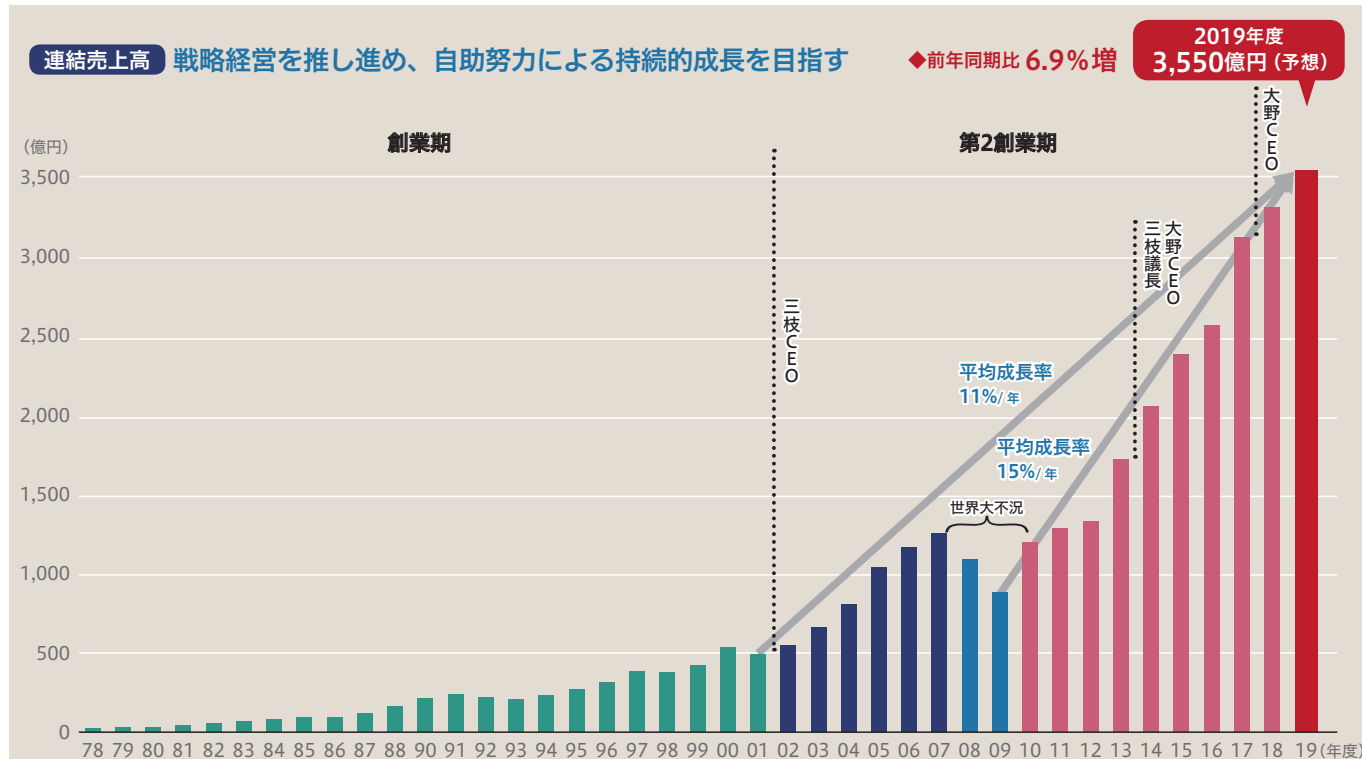
9期連続で過去最高の売上高更新を計画、モデル革新への先行投資は継続

2019年度の世界および日本経済は、米中貿易摩擦のさらなる長期化への懸念などにより、不確実性が一層高まっています。また、スマートフォンに代わってFA業界を牽引する新たな産業が現時点では乏しく、加えて欧州などの地政学リスクにも留意が必要であり、短期的には景気減速

に対する懸念が強まるものと思われます。しかし長期的には、デジタルものづくりの進化がグローバルで加速し、自動化への流れも不変であると認識しています。

したがって当社グループは、グローバル確実短納期の優位性などに一層磨きをかけることで市場シェアを伸ば

●ミスミグループの業績推移



(注) 1989年度は決算期を変更した都合上省略してあります。

し、デジタルものづくりに適合した事業モデルの革新に継続して取り組んでいきます。同時に、短期的な需要減への対応として、生産拠点の拡張計画や稼働時期を見直し、加えて、調達コスト低減などにも取り組むことにより、増益へとつなげていきます。

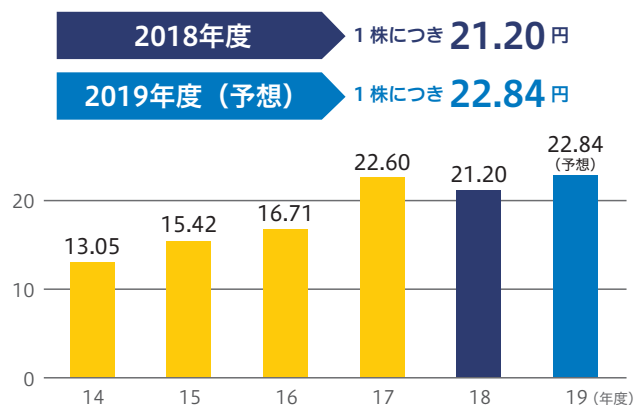
今期の主な施策として、物流拠点の拡充、およびITシステムの完全クラウド化により「確実短納期」をさらに強化し、安定性・信頼性を一層高めていきます。また、地域別の顧客ニーズに最適化した新ECサイトのグローバル展開も着実に進めていきます。各国ごとに顧客が見慣れたサイトデザインを採用したことで、アクセス数が増加するなどの効果が早くも出始めています。

2016年より提供を開始している、3D CADデータからの自動見積もり・発注を可能にするオンラインサービス「meviy（メヴィー）」については、本年3月より新たにFA用部品の切削プレートを提供範囲に加えています。今回のサービス拡充によって、顧客が設備・装置の設計で使用する大部分の図面加工品に対応することが可能となり、これらの部品について瞬時に見積もりを取得し、発注できるようになります。このように、ECサイトやオンラインサービスの機能強化を図ることで、顧客に高い利便性を提供しながら、競合他社に対する高次元な優位性の確保を目指しています。

こうした施策に取り組むことで、2019年度の売上高を3,550億円、営業利益は354億円、親会社株主に帰属する当期純利益は259億円と予想しております。なお、2018年度の配当金につきましては、通期で21円20銭となりました。2019年度は、通期で22円84銭（前年度比で1円64銭増）を予定しています。

2019年度は、デジタルものづくりの進化に対応して「確実短納期」の強化を継続し、グローバルで顧客基盤を拡大するなど、自助努力による持続的成長を目指してまいります。引き続き、皆さまからの一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

● 1株当たり配当金※（単位：円）

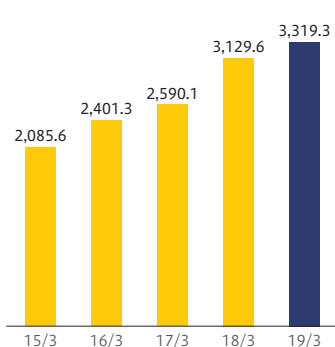


※2015年7月1日付の株式分割調整後

財務ハイライト

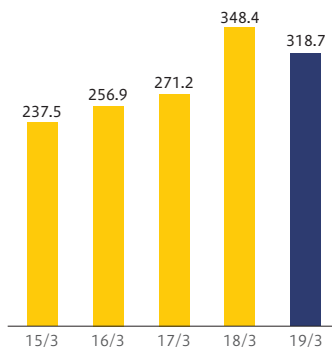
売上高 (単位: 億円)

3,319.3 億円
前期比 6.1% 増 



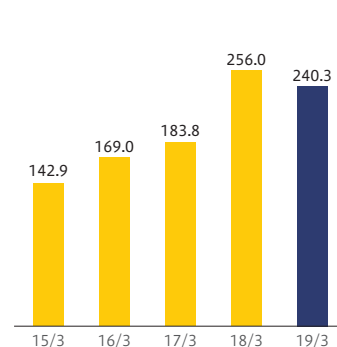
営業利益 (単位: 億円)

318.7 億円
前期比 8.5% 減 



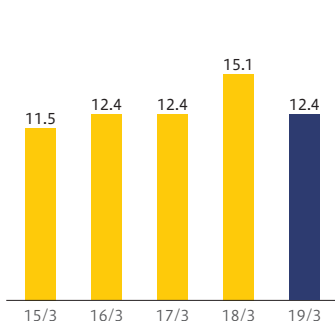
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 億円)

240.3 億円
前期比 6.1% 減 



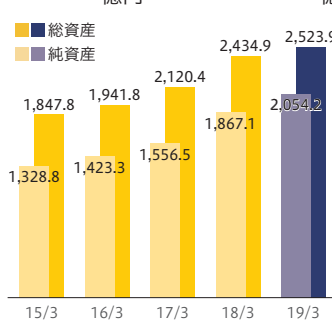
ROE (単位: %)

12.4 %



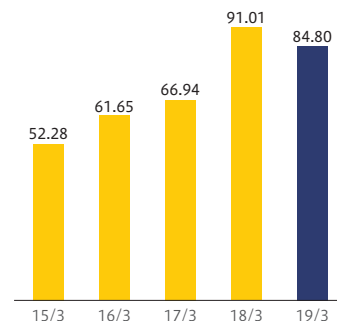
総資産・純資産 (単位: 億円)

総資産 **2,523.9** 億円
純資産 **2,054.2** 億円



一株当たり当期純利益※ (単位: 円)

84.8 円



※2015年7月1日付の株式分割調整後

詳しい情報は、ミスミグループのIRページへ

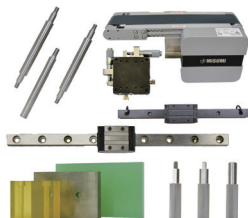
ミスミIR

検索 



セグメント概況

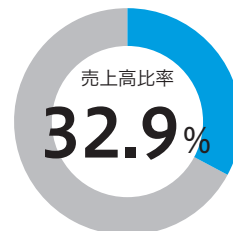
FA 事業



製造装置、生産自動機などに利用する精密機械部品の開発・生産・販売

売上高 前期 1,051.8 億円 → 当期 1,092.3 億円

営業利益 前期 201.7 億円 → 当期 188.3 億円



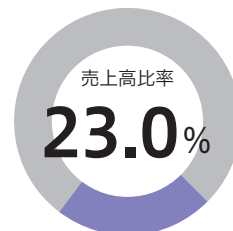
金型部品事業



プレス部品、樹脂成型部品を量産する金型に組み込む標準部品や精密部品の開発・生産・販売

売上高 前期 765.2 億円 → 当期 764.4 億円

営業利益 前期 58.6 億円 → 当期 61.0 億円



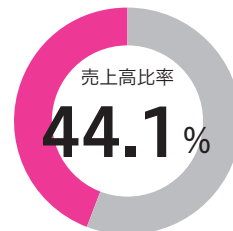
VONA 事業



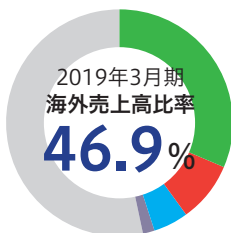
生産副資材から消耗品まで幅広い商品群を販売する流通事業。ミスブランドの他、グローバル3,000社以上のメーカーが参画

売上高 前期 1,312.6 億円 → 当期 1,462.6 億円

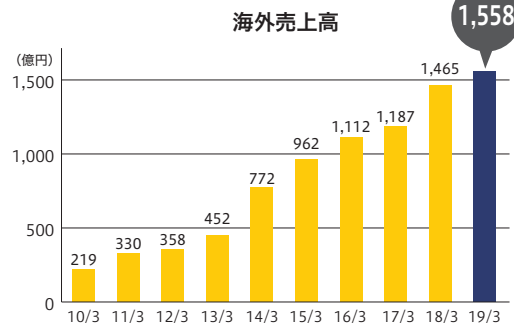
営業利益 前期 90.1 億円 → 当期 69.2 億円



地域ごとの状況



	前期	当期
中国・アジア	991.8億円	1,046.8億円
アメリカ	269.8億円	282.3億円
ヨーロッパ	154.8億円	172.5億円
その他	48.6億円	56.3億円
日本	1,664.4億円	1,761.2億円



連結財務諸表（要約）

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2019.3.31現在	2018.3.31現在
資産の部		
流動資産	175,620	179,904
現金及び預金	50,684	65,502
受取手形及び売掛金	67,252	67,817
その他	57,683	46,584
固定資産	76,772	63,587
資産合計	252,393	243,492
負債の部		
流動負債	39,520	49,684
固定負債	7,448	7,087
負債合計	46,968	56,772
純資産の部		
株主資本	202,384	183,994
その他の包括利益累計額	1,135	1,208
新株予約権	1,331	986
非支配株主持分	572	529
純資産合計	205,424	186,719
負債純資産合計	252,393	243,492

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2018.4.1～2019.3.31	2017.4.1～2018.3.31
売上高	331,936	312,969
営業利益	31,874	34,848
経常利益	31,815	34,679
親会社株主に帰属する当期純利益	24,034	25,601

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2018.4.1～2019.3.31	2017.4.1～2018.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,048	24,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,955	△ 14,887
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,991	△ 5,725
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 60	161
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 9,959	3,872
現金及び現金同等物の期首残高	51,713	47,840
現金及び現金同等物の期末残高	41,753	51,713

新物流拠点「中日本流通センター」を設立

ミスミグループは、愛知県稲沢市に「中日本流通センター」を新設し、4月20日より稼働を開始しました。売上の大多数を占める商品を在庫することで、中部地区における「确实短納期」を強化します。

确实短納期の強化

需要が集積する中部地区に対して、従来は東日本と西日本の両流通センターから商品を出荷してきました。中日本流通センター設立によって、「确实短納期」を一層強化するとともに、BCP（事業継続計画）対策の強化も図ります。

新たな物流モデルを構築

ミスミが扱う、ミクロン単位で寸法が指定できる受注生産品と、生産現場で使う消耗品や工具など在庫商品との両商品において、納期・数量・納品形態など顧客の様々な要望に応える新たな物流モデルを構築します。

グローバル展開の加速

ミスミグループでは世界で「确实短納期」を強化するためにグローバル物流拠点の拡張に取り組んでいます。中日本流通センターで構築する新たな物流モデルをグローバルに展開することで、顧客の利便性向上と競争力強化を追求していきます。



庫内規模：約33,000㎡



会社情報

会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名：MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル
資本金	130億2千3百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随する グループ経営に必要な機能を有する
従業員数	12,300名 (ミスミグループ連結)
URL	https://www.misumi.co.jp/



ミスミグループトップマネジメント (2019年6月13日現在)

取締役	代表取締役社長 CEO	大野 龍隆	シニアチェアマン	三枝 匡
	取締役副社長	池口 徳也		
	取締役副社長	西本 甲介		
	常務取締役 CFO	男澤 一郎		
	常務取締役 CIO	佐藤 年成		
	取締役 (社外)	小城 武彦		
	取締役 (社外)	中野 庸一		

経営	ミスミグループ本社	企業体・サービスプラットフォーム		
執行役	代表取締役社長 CEO	大野 龍隆	中国企業体 代表執行役員 企業体社長	金谷 知樹
	取締役副社長	池口 徳也	アジア企業体 代表執行役員 企業体社長	清水 重貴
	取締役副社長	西本 甲介	FA企業体 代表執行役員 企業体社長	中川 理恵
	常務取締役 CFO	男澤 一郎	3D2M企業体 代表執行役員 企業体社長	吉田 光伸
	常務取締役 CIO	佐藤 年成	VONA企業体 VONAエレクトロニクスG事業本部 代表執行役員 グローバル事業本部長	中村 茂仁
	常務執行役員	和田 高明	VONA企業体 VONAツールG事業本部 代表執行役員 グローバル事業本部長	加藤 匡一
	常務執行役員	恒松 孝一	人材育成サービスプラットフォーム 代表執行役員	佐々木 貴子
	グループ統括執行役員	丸井 武	物流サービスプラットフォーム 代表執行役員	岡本 道明
	グループ統括執行役員	有賀 誠	生産サービスプラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工
	グループ統括執行役員	萩平 和巳	OST企業体 企業体社長代行	古橋 崇
	グループ統括執行役員	白石 裕		

監査役	監査役	宮本 博史	創業者	シニアチェアマン 第2期創業者	三枝 匡
	監査役 (社外)	野末 寿一		特別顧問・創業者	田口 弘
	監査役 (社外)	青野 奈々子			

株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 1,020,000,000株

発行済株式総数 283,756,497株

株主数 6,073名

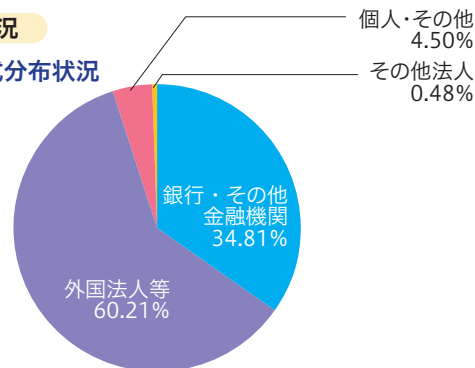
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	46,854	16.51%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	26,767	9.43%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT 常任代理人 香港上海銀行東京支店	14,224	5.01%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	10,678	3.76%
JP MORGAN CHASE BANK 380055 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	8,296	2.92%
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT 常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店	6,776	2.39%
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND 常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行	5,869	2.07%
THE BANK OF NEWYORK MELLON 140044 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	5,803	2.05%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	5,195	1.83%
THE BANK OF NEWYORK MELLON 140051 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	4,978	1.75%

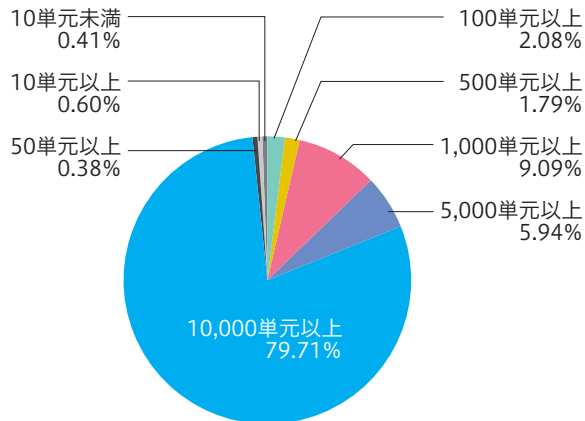
(注) 持株比率は小数点以下第3位を四捨五入しております。

株式の分布状況

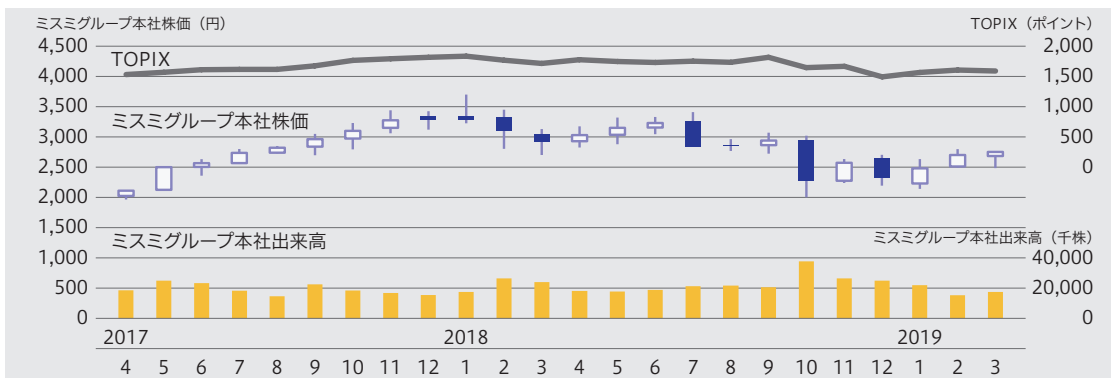
所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況 (1単元の株式数100株)



株価の推移



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00-17:00)
(同送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない 事故その他やむを得ない事由が生じた場合 は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	https://www.misumi.co.jp/ir/

注意事項

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

住所変更、買収請求その他各種手続きについて

原則、株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。
なお、特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

MISUMI Art Collection

James Rosenquist [Horse Blinders (East)]

ジェームズ・ローゼンクイスト『ホース・ブラインダース(イースト)』1972年

James Rosenquistは1957年から1960年までは看板絵描きとして生計を立てていましたが、後にAndy WarholやRoy Lichtensteinのようなポップアートを代表するアーティストの一人となりました。

『Horse Blinders』シリーズは West、North、East、Southの4枚セットから成り、明るく強い色彩と斬新なデザインが看板同様に鑑賞者の目を引きまします。

大量生産された商品や言語文化を断片的に、不合理に、かつ不思議に組み合わせることで、シュルレアリスト（超現実主義）の作品のような前衛的な表現を生み出しています。



株式会社 ミスミグループ本社

〒112-8583 東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル

TEL : (03)5805-7037 FAX : (03)5805-7014

URL : <https://www.misumi.co.jp/>

